

「生命（いのち）の安全教育」実践事例

活動名	LINE の使い方を確認しよう①		
学校名	みどり支援学校		
学年	高等部（新栄分教室）全学年	人数	44 人
日時	令和 5 年 4 月 28 日（金） 13 : 35 ~ 14 : 25		
取扱いの分類	特別の教科 道徳		
講師	分教室長・担任		
学習のねらい	分教室で実際に起きた SNS トラブルを背景に、SNS に書き込んでよいこと・いけないこと、相手が傷つくことを書き込まない、書き込ませない、傍観しないことを理解させる。		
内容	<p>※前半は、室長による自作教材を用いて 3 学年合同で実施。後半は学年ごとに教室で話し合う。</p> <p><導入> 各自のこれまでの SNS の使い方を振り返り、悪口や恥ずかしい画像等の要求などがきたらどうするか、教員の自作教材や質問を通して確認する。</p> <p><展開> 感情は人それぞれだが、相手も同じとは限らないこと、自分の感情を優先して誰かを傷つけたり、恥ずかしい思いをさせたりしてはいけないし、そのようなことから自分の身を守る方法も知ること、そのようなやり取りに気づいたときに相談することを、「友達のいやなところに気づいたら」「友達のアカウントを知りたいとき」「LINE のルールを決めよう」について、話し合いを通じて気づかせる。</p> <p><まとめ> 間違った使い方をしないだけでなく、困ったら相談することが大切だと知らせる。</p>		
成果	生徒から相手を思って書き込むことの大切さについて積極的に意見が出された。年度初めに、安心安全な学校生活には全員の理解が必要であることを確認できた。		
課題	生徒の関係性の変化と個に応じた指導の積み重ねが必要。3 学期に外部講師（NPO 情報セキュリティフォーラム）による「インターネット被害未然防止講座」を実施し、年間の指導のまとめとする。		
性に関する指導の手引き 参考箇所	指導事例 小学校 3 年生（道徳科）および特別支援学校 1 年生【高等部(知的障がい)】（保健体育科）		

【使用教材の一部】

自分のことを確認

- 4 あなたは友達とLINEをするとき、
どんなことを書きますか？



悪口や
もんくや
いやな気持は
書きません！
楽しいこと
だけに
しています。



友達には
何を書いても
いいから、
悪口とか
バカにした言葉
もんくも
たくさん
書きます。

自分のことを確認

- 5 あなたは友達からLINEでいやな言葉がきたとき、
どんなふうに感じますか？




悪口や
もんくを
読むと
とても嫌です。
友達やめたい
ブロックしたい
です。



私も
いやな言葉を
返します。
読んでも平気
です！

学年で話し合ってください

- ① 友達のいやなところや、直してほしいところ、おかしいなと思うところに気づいたら、どうしたらいいでしょうか。
- ② 誰かのアカウントを知りたいときは、どうしたらいいでしょうか。グループLINEのメンバーはどうやって決めたらいいでしょうか？
- ③ LINE  でいやな気持になったという相談がたくさんあります。どうしたら楽しく使えるか、ルールを話し合ってみましょう。